

令和6年第6回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年8月23日（金曜日）			開会	9:27	会議場所		別海町議会 委員会室4	
				閉会	14:43				
委員の出欠	4番	伊勢 徹	出席	5番	貞宗 拓雄	出席	7番	横田 保江	出席
	11番	今西 和雄	出席	12番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長	
		佐々木栄典	出席	小野 武史	欠席	皆川 学	出席	掘込 美穂	出席
		水産みどり課技術主幹		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査	
		古里 達也	欠席	上杉 大洋	出席	金澤 亮太	欠席	山下 真弘	欠席
		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査	
		西郷 博之	出席	岩光 信幸	出席	池田 友和	欠席	松本 芳樹	出席
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		建設水道部次長		建築住宅課長	
		外石 昭博	欠席	新堀 光行	欠席	田畑 直樹	欠席	廣島 静治	欠席
		事業課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課主幹	
		佐竹 和仁	欠席	袴田 充輝	欠席	入田 浩明	欠席	篠田 敬介	欠席
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		上下水道課主幹	
		前道 陽司	欠席	板垣 正博	欠席	西田 和弘	欠席	植松 拓也	欠席
	管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査				
	大滝 毅	欠席	伊井 崇史	欠席	志渡 正勝	欠席			
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主幹			
		川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	成瀬 広子	欠席		
	委員外の出席						合計	0名	
	事務局職員	主幹	木幡 友哉				合計	1名	
傍聴者数	議員	0名	報道関係者	0名	合計	0名			

令和6年第6回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	9:27 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外0名、会期1日 【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1) 水産系副産物再資源化施設の運営について（現地調査）
水産みどり課主査 岩光	・水産系副産物再資源化施設の仕掛け品処理施設において口頭により概要説明 随時質疑応答
	11:20終了
委員長 11番 今西	13:30再開 委員長挨拶
産業振興部長 佐々木	挨拶
	・現地調査の件で聞きたいことがあれば質問を受ける。
委員長 11番 今西	・質疑あるか。
委員 4番 伊勢	・設備投資の予定金額は把握しているか。
水産みどり課主査 岩光	・把握していないが、委託料の範囲内で採算が取れるレベルの設備投資を行う予定であるという話は聞いている。単価はトン当たり2万6,400円。
委員 4番 伊勢	・委託料は支払い済みか。
水産みどり課主査 岩光	・今年度の1,000トン分については支払い済み。ただし、まだ仕掛け品が約1,000トン残っており、その分を来年度再度委託する必要がある。 ただし、当初の想定より仕掛け品の量が多い感じがしているので、委託料は上がる可能性がある。
委員 12番 松原	・焼却処分予算も付いていたと思うが、焼却処分はもう行わないのか。
水産みどり課主査 岩光	・現地調査を行った施設での処理は今年度初めて行うことから、リスク回避の面で焼却分の予算も計上してる。 なお、残っている仕掛け品の中にゴミなどの不純物が混ざっており、再資源化に適さないものもあることから、それについては焼却処分を行う必要がある。 当面の間は、仕掛け品の状態を見極めながら、再資源化か焼却かを判断して進めていく必要がある。
委員 12番 松原	・焼却処理はいつごろから始まるか。
水産みどり課主査 岩光	・契約済みではあるが、処分先の工場の稼働状況を加味し、冬ぐらいに処理したいと考えている。
委員長 11番 今西	・費用の面もあるが、喫緊の課題としては、ストックされている仕掛け品の処理を行うこととなるので、ある程度負担が生じたとしてもやむを得ないといった考え方も必要と思う。 今後も継続的に見ていきたい。
委員長 11番 今西	(2) 酪農振興対策について
農政課主査 西郷	地域計画について資料により内容を説明。 ・地域計画とは、人・農地プランに目標地図を加えたもので、農業経営基盤強化促進法の改正により策定が義務とされたもの。令和7年3月31日まで策定する必要があり、現在事務を進めている。
委員長 11番 今西	質疑
委員 一同	・なし。
産業振興部長 佐々木	物価高騰対策について資料により内容説明。 ・今年6月に行われた各組合長との懇談で、これまでの酪農情勢や本町が行った酪農・畜産の物価高騰対策について、意見交換を行った。その中で、これまでの水道料の減

令和6年第6回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>免による物価高騰対策については、事務処理が役場内部で収まることや規模に応じた内容で、分かりやすく効果的であったとの意見があった。</p> <p>組合長との懇談内容を受け、未だ生産環境が厳しい本年度も、生産経費が低減できる対策として水道料を減免する支援策を実施する予定である。期間は3か月程度の減免とし、金額について、農業分は約9千万円程度を予定している。</p> <p>今後もJ A等の関係団体と連携を密にし、これまで同様、農業に対する各種施策を行い、国や道の対策を効果的に活用しながら、酪農家が意欲を持って経営を続けられるよう、町として適切に対応したい。</p> <p>なお、農業者以外の一般企業も対象とし、3か月程度の減免支援を予定している。</p>
委員長 11番 今西	質疑
委員 4番 伊勢	・一般企業も対象とするとあったが、漁協の組合員など個人に対しては検討しているか。
産業振興部長 佐々木	・家庭用の水道料金は対象外となる。
委員 4番 伊勢	・家庭と事業所の水道を併用している場合はどうなるか。
産業振興部長 佐々木	・メーターの契約種別で判断する。
委員長 11番 今西	・3か月程度との説明があったが、始まる次期はいつ頃を予定しているか。
産業振興部長 佐々木	・11月～1月になるものと考えている。
委員 12番 松原	・水道を多く使わない事業者もいる。水道料の減免以外の対策は考えているか。
産業振興部長 佐々木	・元々が農業者対策とし、水道料金の減免を行うものとしていたところだが、確かに物価高騰の影響はそれ以外の事業者や一般家庭も影響を受けている。その中でも一般企業は多くその煽りを受けていると判断し、対象に加えている。
委員 12番 松原	・水産業は水道より燃油に関する対策が必要だと思うが、そこは考えていないか。
産業振興部長 佐々木	・今回については考えていない。
委員 12番 松原	・農協の組合長と意見交換を行って実施することとしたとの説明があったが、漁協とも意見交換を行えば、いろんな対策をする必要が出てくるのではないかと思うが。
産業振興部長 佐々木	・漁協の組合長と話し合う機会はあまりなかったが、支援が必要との声があれば検討する必要があると思う。
委員 12番 松原	<p>昨年から機械導入の支援策も拡充しているので、そのことも含めて今後、漁協とも相談しながら進めていければと考えている。</p> <p>・漁業協同組合や水産加工組合にも声掛けをして進めていったほうがいいのではと思う。</p>
委員長 11番 今西	(3) ふるさと交流館について
商工観光課長 掘込	<p>ふるさと交流館について資料により内容説明。</p> <p>・令和6年7月8日に庁内検討会議を実施。9月にアンケート調査を行うこととして事務を進めている。</p> <p>6月定例会で施設の整備に当たっては、目指すべき将来像を持って進めるべきとの意見をいただいたことから、そのことを踏まえ、現在慎重に検討を進めている。</p> <p>検討に当たっては、ふるさと交流館のみではなく、キャンプ場や社会体育施設といった周辺区域を総合的かつ戦略的に検討したい。</p> <p>ふるさと交流館及び周辺区域に必要な機能を、ソフト・ハード両面から検討し、導入する機能の整備や配置計画の具現化等を盛り込む地域活性化拠点再生構想の策定を行い、町民、議会、関係者との共通指針としたい。</p> <p>なお、本計画は総合政策課が所管する。</p>
委員長 11番 今西	質疑
委員長 11番 今西	・総合政策課で所管するとの話があったが、今後本委員会ので取り扱うことは差し支えないのか。
商工観光課長 掘込	・全体としては総合政策課になるが、ふるさと交流館に関する部分についてはこれまでどおり商工観光課で所管する。

令和6年第6回産業建設常任委員会 要点記録

委員	4番	伊勢	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの設問はどこが作るのか。 商工観光課でたたき台を作成し、庁内検討会議に諮っている。全体構想に関しては総合政策課と設問内容等について協議している。
商工観光課長		掘込	
委員	4番	伊勢	<ul style="list-style-type: none"> 庁内検討会議の構成メンバーを教えてほしい。 各課長が構成員となっている。
商工観光課長		掘込	
委員	4番	伊勢	<ul style="list-style-type: none"> 役場職員以外の視点の違った意見を取り入れて設問を作ったほうがいいと思うが。 前回委員会で、アンケートについてはスピード感を持って進めてほしいとの意見があったことから、まずは庁内各部署のアイデアを持ち寄ってたたき台を作成した。 なお、再生構想を策定するに当たっては、様々な基礎資料が必要となることから、今回のアンケートで拾いきれなかったものについては、別途調査等を行い基礎資料集めを行うこととなる予定。
商工観光課長		掘込	
委員	5番	貞宗	<ul style="list-style-type: none"> アンケートは郵送可能か。 今のところ回収箱での回収を予定しているが、郵送で送っていただくこともやぶさかではないと考えている。
商工観光課長		掘込	
委員	5番	貞宗	<ul style="list-style-type: none"> FAXも活用して1人でも多く回収できるような方法を取ってはどうか。 今回、設問数が多く、枚数が多いことから、郵送やFAXは送る側の負担となるため、回収方法は回収箱とオンライン回答の二つとしたが、郵送やFAXを排除するものではないので、そういった提出方法についても、検討し周知したいと思う。
商工観光課長		掘込	
委員	5番	貞宗	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多く回収できる方法を取ってほしい。なお、回収率がどの程度あれば、町民全体の声として取り扱うなどの判断基準は持っているか。 回答率が低いから全く参考にしないということではなく、アンケート結果がすべてではないが、あまりにも回答が少ないだとか、もう少し意見を聴取すべきと考えられた場合にはさらなる意見聴取が必要になると考える。 また、各段階において、その都度声を聞き、庁内検討会議でも揉んでいきたい。その内容は委員会、議会にも適宜報告していく。
商工観光課長		掘込	
委員	5番	貞宗	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと交流館と、全体の再生構想の所管が分かれることでうまく議論していくことができるのか。 社会体育施設などは入っているが、基本的に総合政策課と商工観光課で進めていくこととなる。 所管が分かれるということを逆に捉えると、総務文教常任委員会でも議論ができるようになり、連携という面では少し難しくはなるが、関係する委員会が増えることで、議論の幅が広がり、理解している委員が増えることはいいことではないかと思っている。
産業振興部長		佐々木	
委員	12番	松原	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査を改めて行ってからでなければ町としての方針は出ないのか。進みが遅いと感じているがどうか。 浴場の存続という部分と、今回の再生構想を含めたアンケートを併せて進めている段階。 浴場に関しては令和2年度の全町民を対象にしたアンケートで存続という結果が出ているので、それはそれとして進めさせていただく。 構想については全体が絡むので時間はかかると思うが、慎重に進めていかなければならないと考えている。
産業振興部長		佐々木	
委員	5番	貞宗	<ul style="list-style-type: none"> 万が一、アンケート結果が令和2年度の結果と逆に、浴場も不要だという結果が出た場合はどうなるのか。 ないことを願っているが、仮にそうなった場合であっても、存続という方針で進めてきている以上、行政としては存続のために納得してもらえらる根拠を探すことは必要かと思っている。 令和2年度のアンケート結果を基に次のアンケート調査に向かうといった基本姿勢は
産業振興部長		佐々木	
委員長	11番	今西	

令和6年第6回産業建設常任委員会 要点記録

		崩さず持って進めていってほしい。
産業振興部長	佐々木	・そのように進めていきたい。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・なし。
委員長	11番 今西	閉会挨拶
委員長	11番 今西	14:43 閉会